

## 展開例2 歌ってみよう！踊ってみよう！「ぼうさいまん たいそう」 楽譜もあるよ！

### 内容

紙芝居「みんなのみかた ぼうさいマン」での重要なポイントを歌と踊りで確認するもの。実際に身体を動かして、紙芝居に登場した子どもたちと同じように頭を守るポーズなどを取ってもらおう。



- 様々な遊びの中で、幼児が興味や関心、能力に応じて全身を使って活動することにより、体を動かす楽しさを味わい、安全についての構えを身に付け、自分の体を大切にしようとする気持ちが育つようにすること。(幼稚園教育要領第2章より)
- 音楽に親しみ、歌を歌ったり、簡単なリズム楽器を使ったりする楽しさを味わう。  
(幼稚園教育要領第2章より)

### 目的

- ・ 音楽に親しみ、歌や身体を動かすことで楽しみながら防災について学んでもらう。
- ・ 紙芝居の中で出てきた防災のポイントを身体で覚えてもらい、実際に災害と遭遇したときに備える術を学んでもらう。
- ・ 自分もぼうさいマンに変身できる＝災害に立ち向かえるという「自信」をもってもらおう。

### 指導のながれ

- ① 地震が起きたら→「頭を守るポーズ」  
津波がきたら→「高い所へ走るポーズ」  
火事が起きたら→「水を運ぶポーズ」  
歌詞に手をつなごうが登場したら→「となりのお友達と手をつなごう」  
というポイントとそれぞれのポーズを確認する。
- ② 音楽を流し、歌詞を一緒に読みあげる。
- ③ 唄いながら、3つのポーズが歌詞に登場するところでポーズをとる。
- ④ 可能であれば、全てを振付きで踊ってみる。

例：「地震がきたぞドーンドーン」のところでジャンプをする。

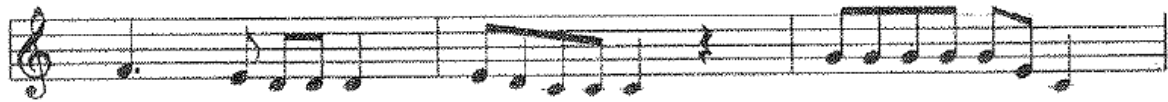
「ぼうさいまんに変身だ」のところで自分が一番好きなキメポーズをとるなど

## 展開例2 消防との連携

紙芝居「みんなのみかた ぼうさいマン」で、災害について学んだ後、神戸市防災安全公社所有 地震体験車ゆれるんなどで実際に地震を体験してみる。また、消火訓練やスモークマシンで煙を起し火事の避難訓練などと組み合わせてもよい。言葉だけでは実際にどういった状況になるかがイメージしづらいため、話を聞いた後に実際に災害の疑似体験をするとより子どもたちの心に残りやすいでしょう。

# ぼうさいまんたいこう

♩=108



じしんが ききた そとぞ  
つなみが ききた そとぞ  
かじが ききた そとぞ



とーん とーん ぼうさい まんに へんしんた とう!  
とーん とーん







てをつなごう                      うらうら    う    うらー



うらうら    う    うらー                      て    をつなごう



てをつなごう

